

RIVER SCHOOL

川を教室にして伸ばす

生きる
ちから





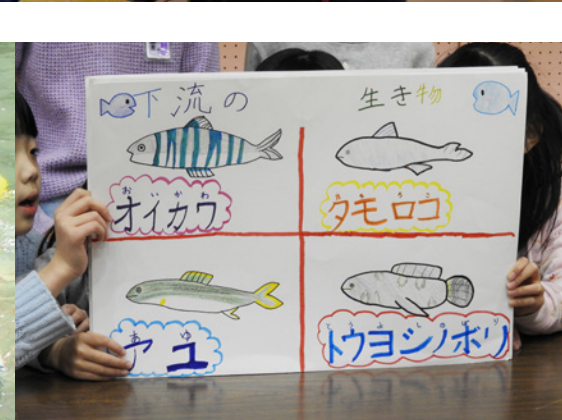
はじめに

子どもたちは、故郷の川である身近な川などの水辺に出かけ、水に接したり、水に触れたりする中で様々なことを感じ取っていきます。子どもたちにとって、川遊びをしたふるさとの小川や水辺などは楽しい思い出の場であり、多くのことを学ぶことのできる場でもある、人格の基礎を培う原体験の場です。

学校での学習や多様な活動の中で、身近な自然の一部でもある川や水辺をフィールドとした体験活動を行うことにより、人として必要な諸感覚を通した「感性」を育み・高め・深め、さらに社会の一員として生きていくための知恵や知識である「理性」までを育むことができると考えます。

このパンフレットでは、川での自然体験活動を積極的に行っている学校に対してアンケート及びヒアリング調査を行い、学校で実施する川での自然体験活動の内容やそのプロセス、児童・生徒の変容、などについてまとめました。このパンフレットがこれから川での自然体験活動を行おうとする学校関係者の一助となれば幸いです。

このパンフレットでは、全国の川の指導者のネットワーク団体であるNPO法人川に学ぶ体験活動協議会の指導者が連携する学校及び河川基金（学校部門）を活用して川での自然体験活動を行っている学校に対してアンケート調査を行い、回答のあった44校の調査結果データを使用しています。



Q 川を「教室」にしている学校は どんなことをしているの？

A 「触れる」「調べる」「守る」
活動をしています

触れる

- 川に触れる活動
- ボート等の活動
- 川の流れを感じる活動 など

「触れる」では、水に触れるなどし、水の冷たさや心地よさ、水やその自然環境の美しさ等に気づく活動や川の流れの中に入るあるいはカヌーやボート等を用いることにより、水の流れのようにすや勢いを実感することで、水には大きな力があることを経験として学ぶ川に親しむ活動などがあります。

調べる

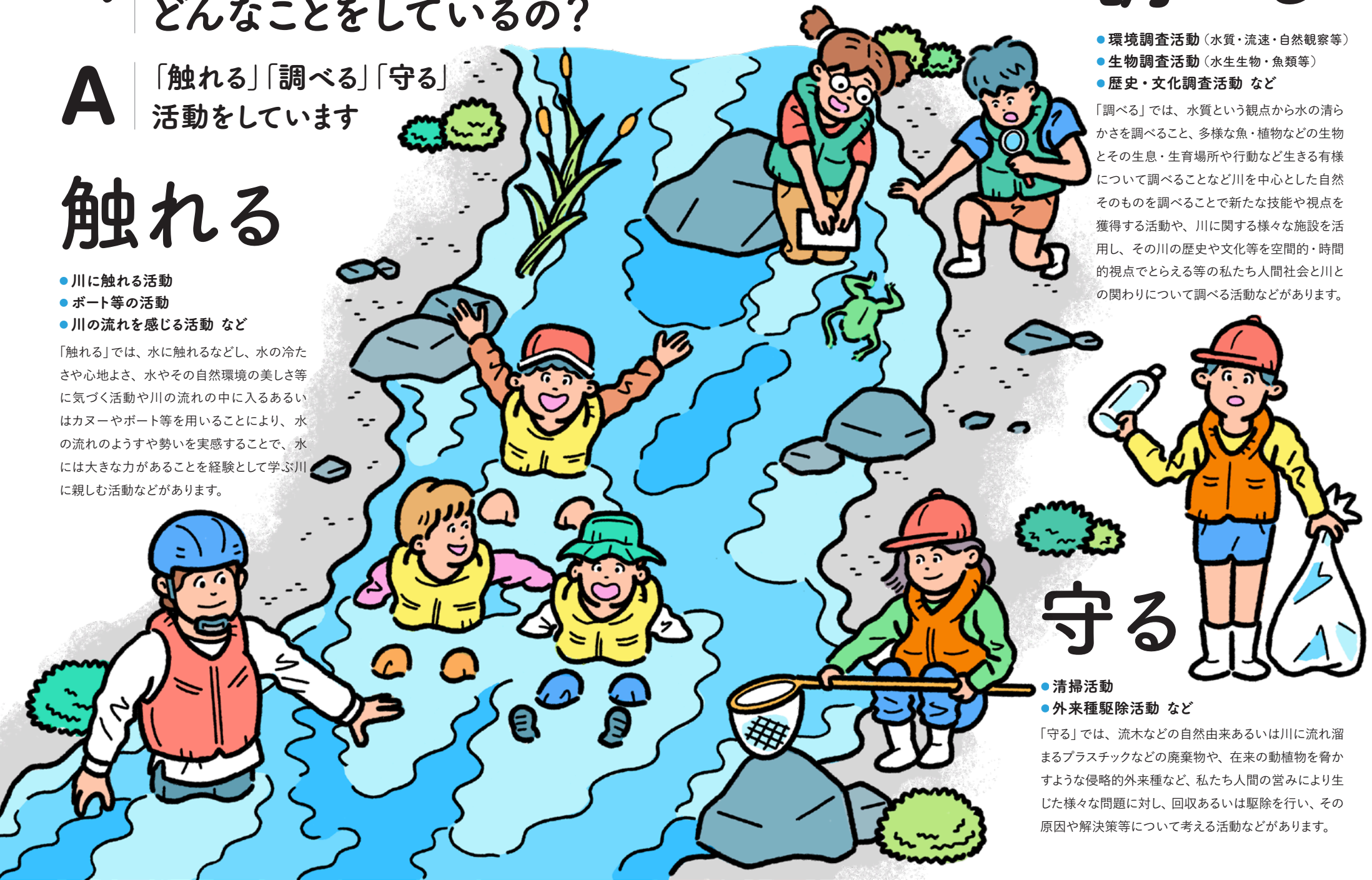
- 環境調査活動（水質・流速・自然観察等）
- 生物調査活動（水生生物・魚類等）
- 歴史・文化調査活動 など

「調べる」では、水質という観点から水の清らかさを調べることで、多様な魚・植物などの生物とその生息・生育場所や行動など生きる有様について調べることで川を中心とした自然そのものを調べることで新たな技能や視点を獲得する活動や、川に関する様々な施設を活用し、その川の歴史や文化等を空間的・時間的視点でとらえる等の私たち人間社会と川との関わりについて調べる活動などがあります。

守る

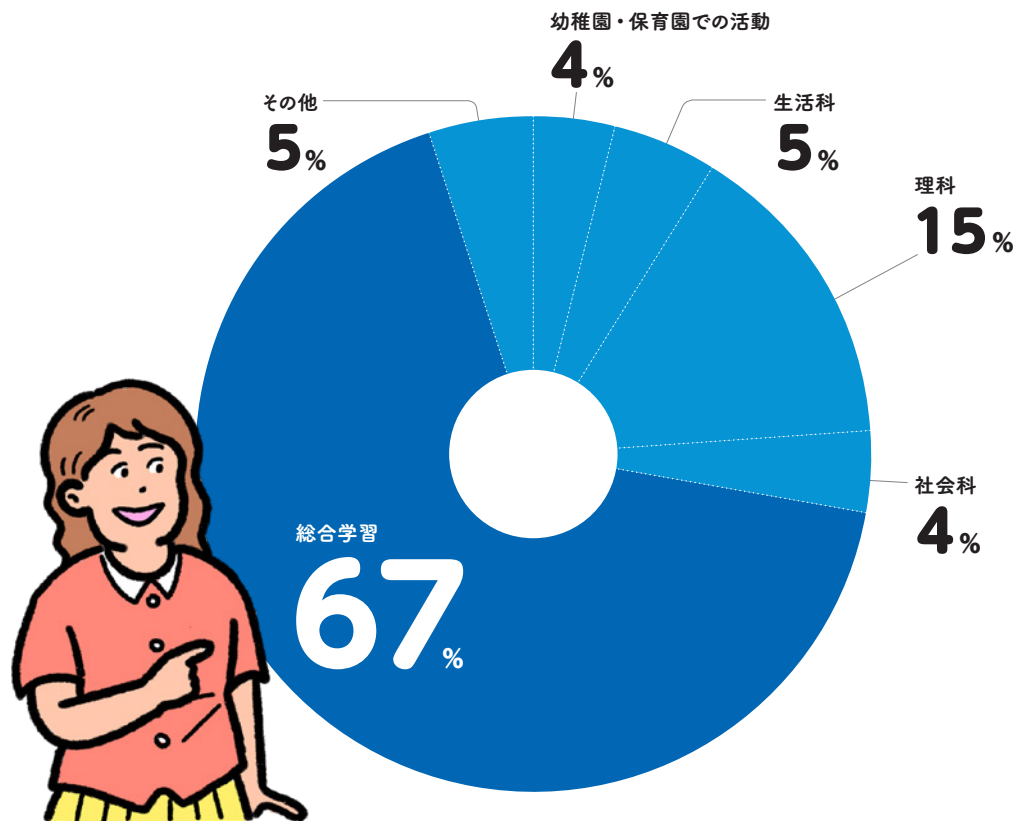
- 清掃活動
- 外来種駆除活動 など

「守る」では、流木などの自然由来あるいは川に流れ溜まるプラスチックなどの廃棄物や、在来の動植物を脅かすような侵略的外来種など、私たち人間の営みにより生じた様々な問題に対し、回収あるいは駆除を行い、その原因や解決策等について考える活動などがあります。



Q どんな教科で実施しているの？

A 小学校では「総合的な学習の時間」を中心に、理科や社会などの教科でも実施しています。



「総合的な学習の時間」での実施と「理科」「社会科」で実施する内容を「総合的な学習の時間」等の他教科等と関連付ける「クロスカリキュラム」で実施することもあります。



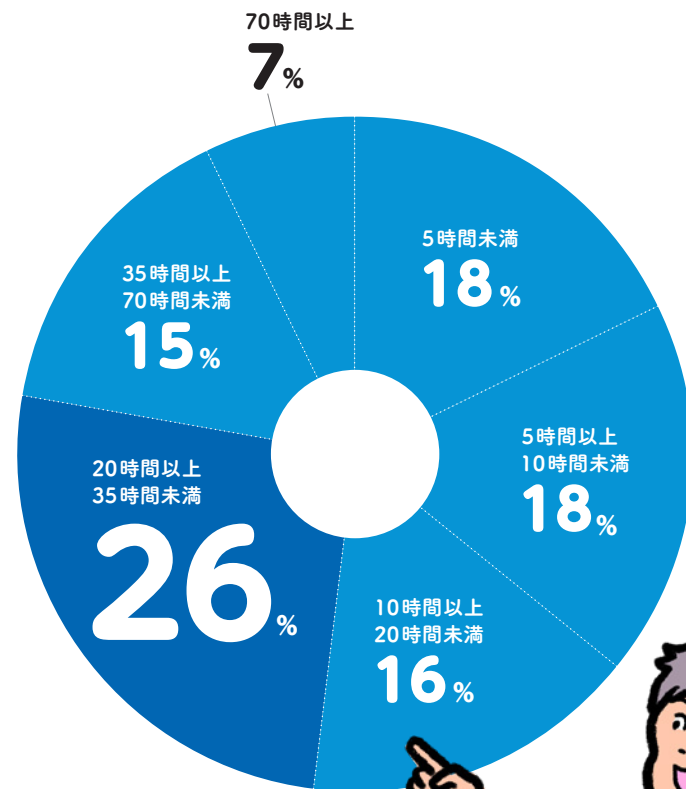
教員のコメント

ただ体験するだけでは遊びになってしまうため、流れている川に体を入れて、どんな「感覚」がするか（流される、押されるなど）、また実際の川が流れる「土地の様子（カーブの内外）」は

どんなようすか「観察」するよう、視点を与えながら自然の川体験をさせています。そうすることで理科の学習「流れる水のはたらき」で予想の根拠や考えの元として活用することができます。

Q 実施している所要時間は？

A 週1時間程度実施している学校など様々です。



20時間以上～35時間未満といった週1時間程度や、小学校では年間70時間ある「総合的な学習の時間」すべてで川の学習実施している学校もあり様々です。



Q 川に親しむことで、 子どもたちがどのように変わるの？

A 教員へのアンケート結果からは、児童・生徒の変容として、
「実感を伴って理解した」「課題発見・解決力が向上した」
「生命の大切さについてあらためて考えるようになった」
といった効果を実感されています。



「知識及び技能」の項目では「実感を伴って理解した」「体験によって、更に探究したいという意欲が向上した」、「思考力・判断力・表現力」の項目では「課題発見・解決力が向上した」、「学びに向かう力・人間性」の項目では「地域のことを知って、地域を好きになる・地域の事を知ろうとする意欲が向上した」「生命の大切さについてあらためて考えるようになった」という回答が多くありました。

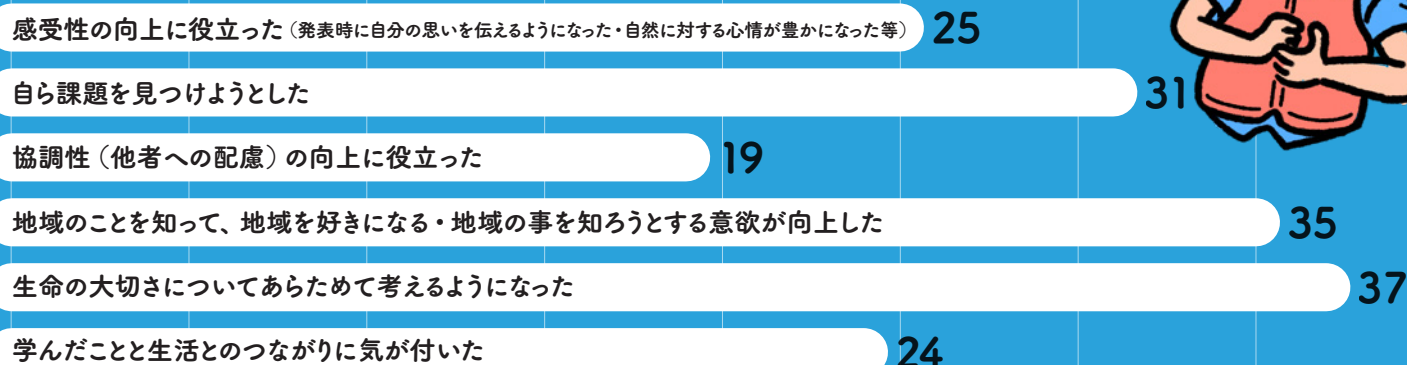
知識及び技能



思考力・判断力・表現力



学びに向かう力・人間性



教員のコメント

理科の学習「流れる水の働きと土地の変化」で事前学習をしていると、河川体験時の水の流れや水圧の体験とが結び付き実感を伴った理解となります。



教員のコメント

自然に対する心情が豊かになりました。そして、地域に対する愛着が高まりました。地域の活動に対して、積極的にかかわるようになりました。



Q どんな教育キーワードと関連する？

A アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）が挙げられます。

「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）を実現しやすい」「ESD/SDGsとの関連性が深い」「水防災の教育に結び付けやすい」の項目が多くありました。

アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）を実現しやすい

33

教科横断やクロスカリキュラムといったカリキュラム・マネジメントを行いやすい

13

ESD/SDGsとの関連性が深い

27

水防災の教育に結び付けやすい

26

その他 2



教員のコメント

川下りや川を歩いたり流れたりした経験は、日常生活に役に立つ魅力があります。また防災時にも活かせると思いました。



教員のコメント

体験したことを表現活動につなげるなど、カリキュラム・マネジメントによる効果的な学習を工夫しています。また、活動だけでなく、評価規準（「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」）にもとづく評価をていねいに行っています。

Q 安全対策や費用など、 他の学校はどうしているの？

A 「安全対策」「時間数の確保」「移動」 「人材・体制」「費用」についてまとめました

安全対策：知識

「知識・資格等」の項目では、教員が安全対策についての冊子や動画を通じて知識を得ていることや、外部講師による事前レクチャー等により児童生徒に具体的な安全対策について伝えています。



教員のコメント

参加にあたっての心構えは、事前に学校内で指導しました。担任以外からの指導や指示に従うことの大切さを学習するきっかけにもなったので良い体験になりました。

時間数の確保

「時間数の確保」では「総合的な学習の時間と理科・社会科等の教科と組み合わせて時間数を確保している」といった事例や「遠足や修学旅行等の課外活動の一環で実施している」といった回答が多くありました。



移動

学校から水辺までの移動は、「徒歩」や「バスによる移動」等様々。普段は学校付近の川で活動し、上流～下流の違いを比較して調べる等の活動ではバスを使って移動するなど、学校の立地条件や活動内容によって、移動手段が変わります。



教員のコメント

行き帰りも含め、けがのないよう注意しています。安全に配慮した上で、のびのびと自由に体験活動ができるよう心掛けています。



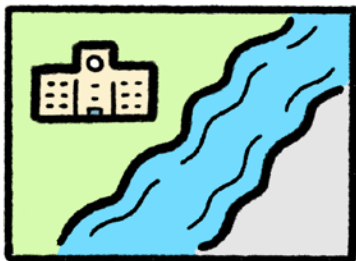
教員のコメント

川の活動は魅力そして多くの学びがあるので、年間カリキュラムに位置づいていれば今後何年間も継続することができるのではないのでしょうか。荒天で実施できない場合の代替えプログラムの準備と再実施の際の時数確保・日程調整がクリアできていれば難しくはないと思います。



安全対策：場所

「場所」の項目では「学校付近の川など、教員や学校が指定した場所で行っている」や「外部講師等が指定した場所で行っている」といった回答が多くありました。



安全対策：装備

「装備」の項目では「ライフジャケットを学校で保有している」ほか「地域や外部講師がライフジャケット等の必要な資機材を用意する」といった回答が多くありました。



教員のコメント

学校の事前指導でライフジャケットやヘルメット、靴などの指導をしたが、現地に行ってから、スタッフやレスキューの方の指導や模範を見て納得することができていた。

人材・体制

外部講師・教員による安全管理

「人材・体制」では、「外部講師を依頼して実施している」「複数の教員による体制で実施している」が多く、PTAや保護者、資料館や地域の行政機関などの協力を得て実施していることもあります。なかには、教員が「川の指導者講習会」に参加し、安全管理等に関する資格を取得するケースも。



教員のコメント

外部講師の方の、子どもたちに対する言葉遣いや対応もきちんとしており、安全管理面でも心配がなかった。

費用

費用は、川での自然体験活動等に活用可能な、行政や公益法人等が運営する助成制度等を利用している場合や、学校の予算で実施している場合があります。助成制度には様々な種類がありますが、中でも「河川基金」は学校が行う川での自然体験活動への助成を行い、ライフジャケット等の購入や外部講師へ謝金、バス代等の使途に使用できるなどから幼稚園から高校までの様々な学校で活用されています。



Q はじめて川を「教室」にした学校はどんなプロセスで進めたの？

A 実際の学校の事例をモデルケースにして紹介します。

(外)

外部講師（NPO等に所属する地域の川の指導者、河川管理者等の行政、地域団体等）がいる場合は、外部講師と相談して行った方がよい項目

難易度 | ★★★

難易度別に★★★を付与（以下★の数はイメージ）

計画編



難易度 | ★★★

1 学校内の意思決定

- 学校長・教頭に、身近な川を活用した学習について説明する

2

年間計画

- 年間指導計画に、川に関する学習を位置付ける



教員のコメント

年間指導計画に位置づいているかどうかは力がないので、新年度計画を立てる1-2月頃には教務が提案し職員会議で決定していることが大事です。

3

指導案の作成・準備

- 安全管理マニュアル等を含めた、指導案を作成する
【参考資料】のうち以下の資料もあわせてご覧ください
学校向けの 簡易チェックリスト等
準備する装備や下見の際に 確認すべきこと等
- 各種準備や手順等を企画（外部講師等の確保や費用の積算等を含む）
- 場所の下見等 ※ 河川の利用についてご不明な点は、お近くの河川管理者にお問い合わせください

難易度 | ★★★



4

事前準備・関係者との調整

- 教育委員会への説明、PTAとの調整・保護者への説明資料の作成等（助成金等を活用する場合には申請手続きなど）



教員のコメント

川での体験活動は、全面的に外部講師にお任せすることになったが、プロに任せるという点で、安全など保護者や管理職・校内の共通理解が得られやすかった

難易度 | ★★★

(外) 難易度 | ★★★



3

難易度 | ★★★

移動

（学校～現地間）

- 徒歩またはバスによる移動（安全管理も含む）

(外) 難易度 | ★★★

4

現地での活動・指導

- 外部講師または教員による装備確認（特にライフジャケット）
- 活動エリアや具体的な危険箇所や回避方法について指導
- 外部講師や教員等の配置や役割分担等の体制の再確認



教員のコメント

自然体験活動時には、子どもたちの安全確保のため、河川の状況を外部講師の方に確認していただき活動実施の可否判断を協力して行っています。

難易度 | ★★★

5

難易度 | ★★★

片付・移動

- 活動に使用した資機材などを片付け、現状復帰し、帰校する

6

振り返り・評価

- 活動時の様子を振り返りながら、児童生徒の感想を形に残す等により評価を行う。



教員のコメント

「総合的な学習の時間」のまとめとして行う発表会には、活動に携わった方々を招待しています。保護者も招待することができれば活動の効果が地域にも広がるかもしれませんね。

実践編

(外) 難易度 | ★★★

2

天候確認や当日下見等

- 気象情報等や当日の水位情報等入手し、可能であれば当日等の下見を行う



教員のコメント

天候や河川の水量など、児童が安全に活動できるように、実施時期や実施の可否など、関係機関や外部講師と協議して決定しています。また、天候に左右されるので、予備日を設定して柔軟に変更できるようにしています。



1

難易度 | ★★★

学校内での事前指導

- 実施する概要や持ち物、川での注意点等を事前に指導する

Q

そのほかに参考となる資料等がありますか？

A1

実際の学校が作成した
年間指導計画を紹介します。



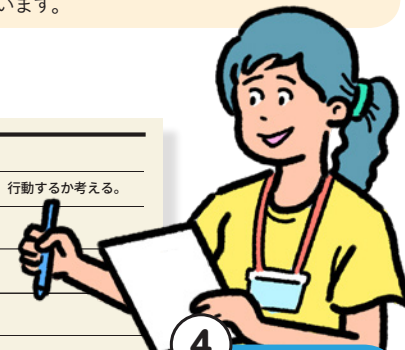
教員のコメント

クロスカリキュラムで実践した場合、総合的な学習の時間だけでなく、例えば理科にも学習内容を位置付けることになります。自然を対象としているため天候に左右される活動であることや実施できない場合の各教科の学習内容との関連も考えておく必要があります。



教員のコメント

本校では、2月に校内の教育課程を見直す会議を行っています。本校は「総合的な学習の時間」を使って、河川教育を進めているため、学年の系統性や児童の実態を考慮し、その年の活動の反省を生かし、次年度の計画を立てています。新年度になると教員が異動することもあるので、継続性を考え各学年の基本的なテーマは変えないようにしています。



1

目的

各教科等のねらいに沿いながら、川での学習を通じて児童・生徒に身につけて欲しい力について記載（活動後に子どもたちの具体的な姿で評価できる見方・考え方など）

2

評価の観点

例えば「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性など」の区分で評価する、あるいは①活動②育成したい能力③身につけさせたい見方・考え方の順に記載

3

各単元の目標

川での学習と関連したそれぞれの教科等の目標を記載

1

2

3

4

5

1.活動名

2.河川教育の目的

3.評価の観点

4.学年/人数

5.活動場所

6.単元構成(総時間数)

7.育成したい能力が身についた子どもの姿

川は自然の宝箱 ～わたしたちと多摩川～

●多摩川の自然に関心をもって体験活動や問題解決学習を行うことを通して、課題追究の力を身に付ける。●体験活動や問題解決学習を通して地域の自然への親しみや愛着をもち、自分達がどのように関わり、行動するか考える。

【知識及び技能】

川には多種多様な生き物が共存して生息し、人間も川と共生していることを理解する。
仲間や専門家の方々とともに活動の計画を立てたり、活動後の振り返りを次に生かしたり、必要な情報を取捨選択し、活用したりする。

【思考力・判断力・表現力】

地域の川の多種多様な生き物などについてテーマを設定し、話し合いや協働活動を通して多面的・総合的に考えを深め、探究活動を行う。
活動の様子や自分たちの考えを整理・分析してまとめ、仲間や地域の人に分かりやすく伝えることができる。

【学びに向かう力・人間性など】

地域の川の自然や環境保全の活動に関心をもち、意欲的に探究活動を行う。
仲間や地域の方々と積極的に関わりながら、よりよい環境を作り出すための行動をする。

4年生/63名

多摩川中流域（主に関戸橋から多摩川と大栗川の合流点付近）

70時間

月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

川は自然の宝箱 ～わたしたちと多摩川～

川での様々な体験活動を通して、自然を肌で感じる

国語：読書生活について考えよう。新聞づくり
社会科：水源林の学習（水道キャラバンなど）
理科：季節と生き物（春・夏）

自分なりの課題をもち、調べ方を考え調査活動を行う。

国語：読書生活について考えよう。新聞をつくる
社会科：水源林の学習、水のゆくえ、水の処理（下水道キャラバン）
理科：季節と生き物（夏・秋）、姿をかえる水

川での調査結果を相手にわかりやすくなるよう表現を工夫して発表。
学習内容の成果を発表し、地域の方々や他地域の方に報告する。

国語：だれもがわかり合えるように
社会科：水源林の学習、水のゆくえ、下水の処理、玉川上水
理科：季節と生き物（冬）

「学校周辺に降った雨はどこに行くの？」
(6時間)

「春の多摩川での活動」
(6時間)

「川の流れるを」
(6時間)

「川の中の生物観察」
(6時間)

「1学期の学習のまとめ」
(2時間)

「夏休みの課題」
・「川の新聞」作り
・自由研究

「多摩川での調査活動1」
(5時間)

「多摩川での調査活動1」
(8時間)

「社会科見学」
・多摩川の上流（御岳深谷）を訪ね、体験活動を行う。
・玉川上水の取水場である、羽羽塚の見学

「まとめの活動」
(10時間)

「まとめ・発表」
(6時間)

・川の流れをたどる。・たどり着いた多摩川で、春の多摩川の観察を行う。
・多摩川を知ろう。
・植物・野鳥の観察の方法を知る。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の水質や石の観察も行い様々な気づきを促す。
・川の中の安全な水質や石の観察も行い

4

主な学習活動

各単元等で実施する学習内容の概要やおおよその時間数等を記載（各活動において、問題解決の能力を育成する子どもたちの学習活動を具体的に計画する）

5

変容

育成したい能力が身についた子どもの姿の見通しを記載（育成したい能力が身についた子どもの姿を想定して記載し、現在の子どもの姿と実践後の子どもの姿を比較して評価する）

A2 安全等に関する 参考資料を紹介します。



動画

リバーアドベンチャー - 川に魅せられし者たち -

小学校の児童向けに作成したRPG風のアニメーション動画です。川での自然体験活動を行う前に視聴し、水があり流れがあることによるリスクと具体の対処方法について学びます。授業での教材としてまたは家庭でのオンライン教材として活用できます。



▶ <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/index.html>



動画

安全な川遊びのために

安全に川遊びをするために気をつけること等を映像で紹介しています。「子ども向け」(第1部)と「大人向け」(第2部)があります。



▶ <https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid130.html>



冊子

河川体験活動安全管理マニュアル(例)

川での体験活動を行う際に、事前に安全管理マニュアルを作成します。本マニュアルは河川事務所が作成することを想定していますが、学校での安全管理マニュアル作成としてもご活用できます。



▶ <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/index.html>



講習会情報

NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会 認定指導者資格・講座等

安全管理や基本的な指導技術など、川の指導者に必要な技術・知識を知るための基本科目が設けられた講座。認定ランクに応じて、引率できる人数、活動内容、活動フィールドが広がります。



▶ <http://www.rac.gr.jp/>



冊子

ミズベアソビガイド

水辺の楽しみ方や安全対策などについてまとめた入門ガイドです。川の中や、水際、河川敷などのエリア別の活動を写真つきで紹介しています。



▶ <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/index.html>



講習会情報

水難救助の国際資格 「レスキュー3」講座等

アメリカ合衆国に本部を置く、緊急救助活動に関わる民間団体の名称。コースの修了者には国際的資格であるレスキュー3の認定証が発行されます。



▶ <http://www.srs-j.co.jp>



冊子

水辺の安全ハンドブック

初めての川体験や川のキャンプをはじめとした水辺での活動をする保護者・団体・学校関係者等を対象とした水辺で活動する際のポイントを紹介した冊子。



▶ <https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid129.html>



掲載写真のご提供者 ● 東北町立甲地小学校 ● 仙台市立北中山小学校 ● 仙台市立八本松小学校 ● 大田区立嶺町小学校 ● 多摩市立連光寺小学校 ● ろりばっぶ学園 ● NPO 法人 まち・川づくりサポートセンター ● カワラバン ● NPO 法人 つくばハーモニー ● NPO 法人 川に学ぶ体験活動協議会





川での自然体験をきっかけとした

「主体的な学び」が養う見方・考え方

仙台市立八本松小学校

(宮城県)



3年生 佐々木順子先生
野崎亮祐先生

教諭

4年生 佐々木弘子先生
細倉孝太先生

仙台市立八本松小学校では、2010年頃から本格的に河川体験活動を実施しています。地域資源等を有効活用する機運が高まったことを受け、学校区を流れる広瀬川の活用を検討したのがその第一歩でした。地域に根差した活動となっている仙台市立八本松小学校の先生方にインタビューを行いました。

年間指導計画の 作成時期の 1月頃がねらいめ

当校では、主に総合的な学習の時間を活用し、3年生と4年生の年間指導計画に広瀬川の学習を位置付けて実施しています。4年生は一学期のみですが、3年生はほぼ一年間を通して広瀬川を対象とした様々な活動を行っています。

おおよその年の1月頃から次年度の計画見直しに着手して、年間計画の大枠を決めています。細かな学習内容については、新年度開始の4月に学年ごとで詳細を詰めていくという流れです。

一度活動が定着すれば特段の問題が無い限り、その年の計画が大きく変わることはあまりないと考えています。当校では、これまで外部講師による体験活動の満足度は児童・教員ともに高いと感じています。年間指導計画に基づいて各学年の方針が決まるため、地域の川を活用した

学習を計画するのであれば、1月頃には企画すると良いのではないのでしょうか。

地域の関係者との 輪がひろがり、 活動を継続することが できています

河川体験活動の当日は多くの保護者の協力も得ています。学年だよりで保護者の方にあらかじめ日時や必要な協力内容についても記載し、保護者から協力の申し出をいただいています。もし協力が得られる人数が足りない場合には、(地域によって規模や学校との連携状況は異なりますが)地域支援本部にも協力をお願いしています。当校では有難いことに地域支援本部から毎年支援を受けていて、地域との連携により、地域の自然等様々なことについて教員側も学ぶことが多いと思っています。地域支援本部の方に長年関わっていただいているため、河川体験活動の担任教員が異動になっても、学校での活動を継続することができます。また、活動が長年継続できたことで、新たな関係者とのつながりも広がっていると実感しています。

川の自然体験活動の 前後の学習が 学びを深めます

事前準備には、主に「校内での打合せ」・「場所の下見」、「人手の確保」の他、「事前学習」があります。「事前学習」は、学習の始まりとして位置付けており、安全面についての指導も含めています。この事前学習を行うことで、川での体験活動時の興味関心を高めていると感じています。例えば当校の3年生が川に入るのは夏ですが、春から広瀬

川を陸上から観察する等の活動を行います。事前にインターネットで調べ学習を行い、各児童がそれぞれ調べたい事についての知識を得た上で川に入る活動を行っています。4年生は、3年時の河川体験活動を振り返り、自身がさらに取り組みたい事について考えるといった学習内容です。

川以外の周辺分野にも 興味が広がったことに 起因し、様々な教科の 点数が上昇

6年生になっても3年の河川体験活動時に習った魚の捕り方等について鮮明に記憶しているなど、川での活動内容や活動時に覚えた生物の名前については、実体験に基づいた知識として定着しているようです。一般的には人は聞いたことはすぐ忘れてしまう傾向にありますが、体験したことは忘れない様子が児童の感想等からうかがわれます。

例年であれば室内等での事前学習を行った後に、河川での体験学習を行っています。今年度は(新型コロナウイルス感染症対策

の影響もあり)事前学習ではなく事後学習となりました。川の生き物の写真をスライドで映写するのが、河川体験活動実施後となったのですが、例年実施している事前学習と比べ、より興味関心を持って学ぶ様子がうかがわれました。



ライフジャケットの着用を実際に教わる



これは、体験を行うことで児童の興味関心をますます高め、見方・考え方に変化が生まれたのだと捉えています。具体的には、河川体験活動後の事後学習において関連知識を得ることで、もっと知りたいという探究心の向上や新たな視点に気づくといった効果が得られたのだと思います。

漫然と調べるのではなく、児童が各々のめあてを持って取り組むため、例えば「上流の生き物」に着目する児童や、「なぜ上流・中流・下流に住む生き物は異なるのか」という視点に着目する児童もいました。体験し、物事に対する興味関心を高めた上で関連知識を得るため、児童の視点が鋭くなり知りたいことが明確になる等の学習効果があると考えられます。体験活動をきっかけとした「主体的な学び」から物事への興味関心を高めることができた結果として、標準学力テストにおいて、当校では児童の理科をはじめとする様々な教科の点数が上昇したと私たちは分析しています。このことは、きっかけとして川の生き物への関心が高まることで、川以外の周辺分野にも興味が広がったことに起因していると思われます。

インターネットや図鑑、教科書だけの学びだと学習時だけの興味関心となりますが、実際に川に触れ・体験したことで更なる気づきが生まれたのだと思われます。体験したことをきっかけに興味が生まれ知識が定着する、教えられたことは忘れるが自分で興味を持って学んだことは忘れない等、身近な川が存在

が、学校としても大きな教育効果が得られていると感じています。さらに3年時・4年時と2年続けて川に触れることで、児童が系統的に

学ぶことができ、前年の体験を踏まえて児童の探究心も更に深まっているようです。学ぼうとする意欲が高まることから、自ら積極的に質問をしようとする態度も養われています。

保護者の意識も変わる

川に触れれば児童は川に興味を持ったり好きになったりします。当校では低学年時は川には入らないのですが、生活科の授業のなかで川の近くで虫取りを行っています。こうした活動で児童は身近な川を少しずつ意識するようになり、次第に地域の自然を愛する心が芽生えています。さらに、学校で学んだ生き物の知識を保護者に伝えるなどし、休日でも親子で川の生き物採集を行うようになった家庭もあります。

また、授業の手伝いにくる保護者も楽しんで活動をしています。最初は川に入るのを躊躇していた保護者も子どもが楽しそうに活動を行っているのを見て、意識が変わってくるようです。

ライフジャケット着用は安全対策の基本

安全対策としてライフジャケットは必須の装備として着用させています。川は自然そのものなので、天候や水位、流れの強さなど様々な要因が刻々と変化します。そうした環境下のなか、呼吸を確保する手段としてライフジャケットは安全対策の基本と考えています。また、川の安全管理・体験活動の外部専門講師が場所の選定や河川体験活動時の水位等を確認するなど外部との連携による安全対策を行っています。

こうした外部専門講師及び教員のほか、担任以外の教員や管理職、地域支援本部や保護者も含めて安全管理の体制づくりを行っています。川なので安全面には特に気を付けています。さらに川の学習に関する教員向けの研修も校内で実施しています。

比較の視点でより深い内容に気づく

当校から5分程のエリアに広瀬川（中流域）があるため、徒歩で移動することができます。4年時に中流域と上流域を比較する学習を行う際には、バスを用いて上流域へ移動します。上流域では主にニッカウキスキー仙台工場の敷地内の新川川（広瀬川上流）で調べ学習を行っています。中流を経験しているからこそ、児童が各々の比較の視点を持つことができ、中流域と上流域との違いに気づくことができます。

クロスカリキュラムで教科間の学びを横断させ時間数を確保

広瀬川学習は、総合的な学習の時間を中心とし、理科（生き物）や社会（水はどこから）とも関連させています（クロスカリキュラム）。総合的な学習の時間だけだと時間数は不足しますが、川をテーマにすることで理科や社会との学習にも関連づけながら時間数を確保することができます。3年生は70時間、4年生は35時間を広瀬川学習に充てています。当校は立地条件に恵まれていることもありますが、これだけの時間数を割けるだけの学びが広瀬川学習から得られていると考えています。



生き物を捕まえる為に方法を考える



広瀬川での体験が学習の定着に繋がる



MLIT

発行 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 2021年3月